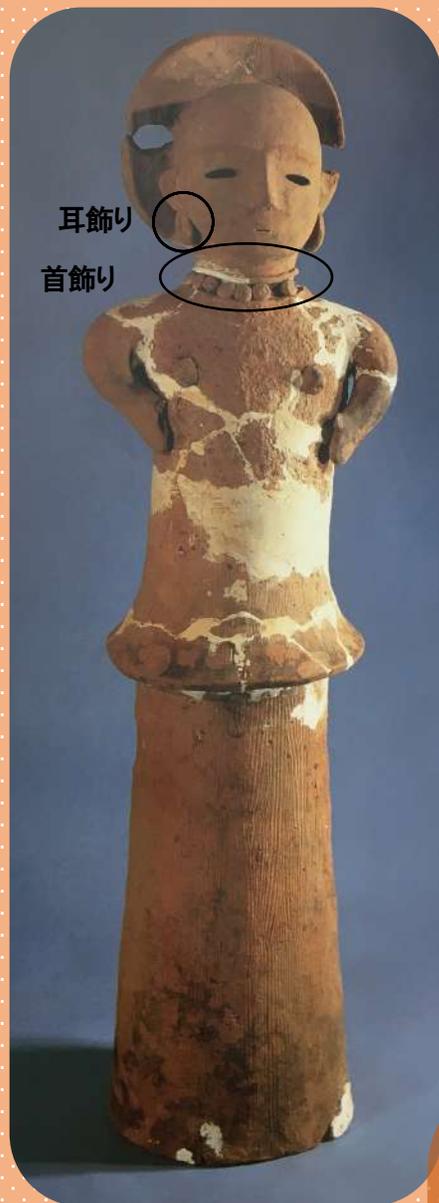


正装した女性の埴輪



いせさきししもふれい

1952年(昭和27年)に伊勢崎市下触町の石山南古墳から発掘された。

高さ90cmを有する。女性の埴輪は髪を結い上げて正装した姿が多い。この埴輪も島田髷状に髪を結っており、首飾り、耳飾りも表現されている。儀式に臨む女性をあわらしたものと思われる。

髪型

しまだまげ

この埴輪の女性は島田髷と呼ばれる結い方をしていると考えられる。多くの派生を持つ日本の伝統的な髪型である。

長い髪を頭頂部で一度束ね前後に折り返しリボンでまとめる。さらに前髪が垂れ落ちないように櫛を差す。埴輪ではこれを略して頭上に板を載せたように造形することが多い。



参考文献の図を元に作成